
令和3年度（2021年度）活動報告書

このたび、令和3年度（2021年度）の熊本県博物館ネットワークセンターの活動報告書を取りまとめましたので、御覧いただければ幸いです。

熊本県博物館ネットワークセンターは、平成27年（2015年）4月の設置以来、県内博物館等との連携を軸として、「いつでも・どこでも・だれでも」博物館活動に親しんでもらえるよう、共同企画展の開催、収蔵資料の情報共有化を図るための「熊本県博物館資料データベース」の運用・公開など、「熊本県総合博物館ネットワーク構想」の実現に向けて取り組んで参りました。また、企画展・移動展の開催、講座やフィールドミュージアムの実施、ミュージアムパートナーズクラブへの支援など、県民の皆様が熊本の歴史や自然を体感できる取り組みを進めてきました。

令和3年度は、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、博物館活動の制約が続く1年でしたが、前年度には実施できなかったオンラインでの研修を積極的に実施するなど、「ウィズコロナ」の時代に即した博物館活動を着実に推進しております。特に、コロナ禍においても博物館をより身近に感じることができるよう、熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト内に立ち上げた「熊本どこでもミュージアム」では、県内博物館等と連携して、動画を活用した博物館紹介、自宅でできる学習プログラムの紹介などコンテンツの充実に努めています。

今後とも、県内博物館の活性化と、県内どこに住んでいても博物館活動に参加・体験できる環境づくりを目指して取り組んで参りたいと考えておりますので、御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和4年（2022年）5月6日
熊本県博物館ネットワークセンター
所長 松永 築

目 次

1 展示活動

- (1) 企画展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 移動展示・・ 8
- (3) 縣市連携展示「熊本のいきものたち」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (4) 熊本県博物館ネットワークセンター阿蘇展示室・・・・・・・・・・ 11

2 情報発信活動

- (1) 熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト・・・・・・・・・・ 13
- (2) 熊本どこでもミュージアム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- (3) 出版物・・ 14

3 研修活動

- (1) 総合プロデューサー育成研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- (2) スキルアップ研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- (3) 教員のための博物館の日 in 山鹿・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

4 学習支援活動

- (1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- (2) 熊本を知る講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- (3) くまもとキッズミュージアム in 人吉・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- (4) 移動体験教室・講師派遣・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
- (5) 団体利用・・ 23
- (6) 博物館実習・職場体験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
- (7) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズ制度・・ 23
- (8) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ・・ 24
- (9) 学校移動展示用パッケージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- (10) 図書館・公民館移動展示用パッケージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

5 資料収集整理活動

- (1) 熊本県博物館資料データベース事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- (2) 熊本県学芸員等人材データベース事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- (3) 資料収集・整理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

6 資料

- (1) 令和3年度(2021年度)職員一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- (2) 熊本県博物館ネットワークセンター条例・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
- (3) 施設平面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
- (4) 熊本県博物館ネットワークセンターへのアクセス・・・・・・・・・・ 38

1 展示活動

(1) 企画展示

① 円のおゆみ ～近代通貨制度の150年～

開催期間 令和3年(2021年)6月8日(火)～令和3年(2021年)8月9日(月)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月8日(火)～6月28日(月)、7月29日(木)～8月9日(月)は一時休止。

協力 日本銀行、日本銀行金融研究所貨幣博物館、財務省

後援 熊本県教育委員会、宇城市教育委員会

観覧者数 136人

展示点数 137点

担当 中村圭子、古澤広大、堤将太



(展示趣旨)

明治4年(1871)に円(圓)を単位とする通貨制度が始まって、令和3年(2021)6月で150周年を迎えた。明治維新後も金貨・銀貨・銭貨を基本通貨とする江戸時代の貨幣制度は継続されたが、金・銀・銭に加えて、藩札や政府・民間が発行した紙幣が流通していたことから、明治時代最初期の通貨制度は非常に混乱していた。そこで、新政府は明治4年に新貨条例を制定し、全ての貨幣を新通貨「円」に統一した。これ以後は、幾度も制度の改正を経て、現代に至るまで「円」が用いられている。

本展示では、明治時代から現代にかけて発行されたお金を展示し、近現代の通貨制度や社会情勢の変化と、それに伴うお金の変遷について紹介した。

(展示構成と主な展示資料)

(ア) はじめに

日本の貨幣制度の概略とともに、江戸時代の貨幣制度について紹介。

(主な展示資料)

銭さし、寛永通宝一文銅銭、天保通宝百文銭、
文久永宝四文銭、南鐐一分銀、享保小判(写真)、
安政丁銀(写真)



(イ) 円の誕生

江戸時代のものに替えて新たに貨幣制度を定めた法令である「新貨条例」と、日本における銀行制度の始まりについて紹介。

(主な展示資料)

民部省札金1朱札、明治通宝10銭券、新1円銀貨、
稲1銭青銅貨、国立銀行兌換紙幣1円券、
新20円金貨(写真)、太政官札金10両札(写真)、
日本銀行兌換券甲号10円券(写真)



(ウ) 世界不安と円

大正時代から太平洋戦争終戦までの貨幣と貨幣に関する情勢、軍票について紹介。

(主な展示資料)

大正兌換銀行券1円券、鳳凰50銭銀貨、
日本銀行券い号10円券、小額政府紙幣50銭券、
カラス10銭アルミニウム貨、1銭錫貨、
日華事変軍票丙号100円券



(エ) 新しい時代と円

太平洋戦争終戦後の貨幣の移り変わり、記念貨幣について紹介。

(主な展示資料)

日本銀行券A号10円券、日本銀行券B号500円券、
日本銀行券C号10000円券、稲100円銀貨、1円黄銅貨、
東京オリンピック記念100円銀貨、近代通貨制度150周年、
記念10000円金貨(写真)



関連企画

展示解説

会場 熊本県博物館ネットワークセンター 展示室

開催期日 令和3年(2021年)7月17日(土)

参加人数 7名

担当 中村圭子、古澤広大

② 教科書に登場する動物たち

開催期間 令和3年(2021年)8月17日(火)～10月17日(日)

後援 熊本県教育委員会、宇城市教育委員会

観覧者数 98人

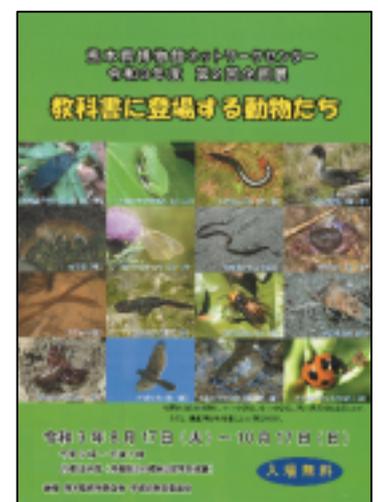
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月17日(火)
～9月30日(木)は一時休止。

展示種数 125種

担当 金子誉士、中菌洋行

(展示趣旨)

小学校から高等学校を通して学ぶ理科の教科書には、様々な生物が紹介されている。児童、生徒は教科書を通じ、生物の知識を得るが、それらの生物たちの中には、児童、生徒が見たことがないものもある。そこで、教科書に掲載されている動物たちを当センターの標本を用いて紹介し、標本を見ることで、大きさや質感などを知る場となる。更に、教科書に記載されていない動物の特徴などを紹介することで、自然や動物に対する興味関心を高める。



(展示構成と主な展示資料)

(ア) 身近な動物たち

小学校理科の「身近な動物たち」に登場する動物たちの紹介。

(主な展示資料)

ハシブトガラス、ニホンイシガメ、モンシロチョウなどの標本。44種

(イ) 食物連鎖

中学校理科、高等学校生物の「食物連鎖」に登場する動物たちの紹介。

(主な展示資料)

一次消費者（バッタ類など）、二次消費者（オオカマキリ、ヒキガエルなど）、三次消費者（フクロウ、キツネなど）の標本。生産者については写真にて紹介。37種

(ウ) 希少野生生物と外来生物

高等学校生物の「希少野生生物と外来生物」に登場する動物たちの紹介。

(主な展示資料)

希少野生生物（クロツラヘラサギなど）、外来生物（オオクチバスなど）の標本。16種

(エ) 動物のなかま

中学校理科の「動物のなかま」（分類）に登場する動物たちの紹介。

(主な展示資料)

キクガシラコウモリ、アオダイショウ、スナヤツメ、シーボルトミミズなどの標本。28種

(オ) 学校移動用展示パッケージ

学校の教材用に作成した学校展示用パッケージ「身近な生き物」「土の中の生物」を紹介。



関連企画

展示解説

会場 熊本県博物館ネットワークセンター 展示室

開催期日 令和3年(2021年)9月9日(土)

参加人数 7人

担当 金子誉士、中藪洋行



③ くまもとの地質（宇城市周辺の地質）

開催期間 令和3年（2021年）10月26日（火）～令和3年（2021年）12月26日（日）

後援 熊本県教育委員会、宇城市教育委員会

観覧者数 267人

展示点数 124点

担当 高口幹世司、廣田志乃



（展示趣旨）

宇土半島南部から緑川流域、九州山地の北端にかけては、熱や圧力を受けた岩石、マントルを構成する岩石、恐竜が生きていた時代にできた地層や化石、大昔の火山などがある。また不知火海側は、干拓地であるものの、海で堆積した地層の様子を見ることができる。今回の企画展では、地質的に変化に富んでいる宇城市とその周辺の地質について展示紹介し、それらの紹介を通して、熊本の土地の成り立ちや生活とのかかわりについて関心をもってもらうことを目的とした。

（展示構成と主な展示資料）

（ア）宇城市の天覧石材標本

宇城市とその周辺に関する天覧石材標本を天覧石材標本の解説とともに展示した。

（主な展示資料）

天覧石材標本（飛岳石、三角石、竹葉石）



（イ）宇土半島

宇土半島を構成する大岳火山岩類および三角岳火山岩類と、その基盤となる中生代白亜紀後期から新生代古第三紀始新世にかけて堆積した古い地層について、現地で採取した岩石とともに解説。また、宇土半島で見られる特徴的な地形について見どころマップを作成し、写真と併せて紹介した。

（主な展示資料）

サンドパイプ、キララガイ、二枚貝化石、馬門石、角閃石安山岩、輝石安山岩、デイサイト、凝灰角礫岩



（ウ）南東部の山地

宇城市の南東部に分布する、肥後変成岩類、肥後深成岩類、竜峰山帯についての解説。それぞれの地質帯で採取した特徴的な岩石を展示し、立神峡など地質の関係する名勝地を写真で紹介した。

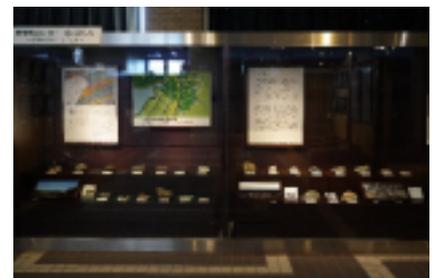
（主な展示資料）

肥後変成岩類・・・コランダム、結晶質石灰岩、片麻岩

肥後深成岩類・・・トーナル岩、ペグマタイト、アプライト

竜峰山帯・・・石灰岩、粘板岩、結晶片岩

その他・・・竹葉石、カンブリア紀の岩石



(エ) 北東部の山地

宇城市の北東部に見られる御船層群について、岩相の違いによる分類をパネルで解説。また、御船層群は化石が多く産出することが特徴的であるため、宇城市内で採取した化石を展示した。

(主な展示資料)

巻貝（オリゴプティクシス、トロークス）、二枚貝（ゴショライア、セプティファア、プテロトリゴニア、イノセラムス）、頁岩、砂岩、ヒノキの仲間



(オ) 平野部と不知火海

宇城市の平野部は、不知火海の干拓によって形成されたことを干拓地の変遷や昔ながらの干拓の方法とともに紹介。また、ムツゴロウやシオマネキなど、不知火海の干潟に住む代表的な生き物についても写真で紹介した。

(主な展示資料)

不知火海干潟の生き物たちの写真



(カ) 日奈久断層帯

2016年の熊本地震を引き起こしたとされる日奈久断層についての解説と断層の存在が推測される特徴的な地形を、イラストを用いて紹介した。

(主な展示資料)

宇城市周辺の活断層図、断層がつくった地形のパネル

関連企画

展示解説

会場 熊本県博物館ネットワークセンター展示室

開催期日 令和3年(2021年)10月31日(日)(2回に分けて開催)

参加人数 9人(第1回 4人、第2回 5人)

担当 高口幹世司、廣田志乃



④ ちょっと昔の暮らし探検

開催期間 令和4年(2022年)1月10日(月)～令和4年(2022年)3月13日(日)

後援 熊本県教育委員会、宇城市教育委員会

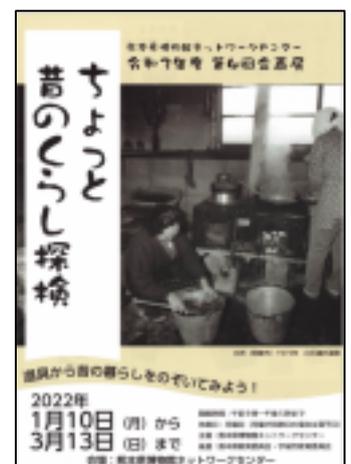
観覧者数 204人

展示点数 126点

担当 原田信敬、國本信夫、迫田久美子

(展示趣旨)

昭和30年代後半から40年代にかけての高度経済成長の下、社会はこれまでにないスピードで変化した。人々の生活も、様々な場面で機械や電化製品が使用されるようになり、生活のあり方や感覚も変化していった。かつては普通に使われていた暮らしや仕事の道具の中から、小学校3・4年生社会科で取り上げられる「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」の単元に対応した道具を中心に紹介し、道具をとおして暮らしの変化を実感し、



変化の意味を考える機会とすることを目指した。

(展示構成と主な展示資料)

(ア) 台所今昔

水道、家電製品、ガス製品の普及で台所の様子は一変した。今では簡単にできることでも昔は大変な労力が必要だった。ご飯を炊くにも火をおこし、火加減を見ながら炊かなければならなかった。そんな時代の食生活に関わる道具と使い方を紹介。

(主な展示資料)

羽釜、火吹き竹、電気釜、飯びつ、箱膳、ちゃぶ台、鯉節削、石臼



(イ) もっと明るく、もっと暖かく

オール電化の住宅では日常で炎を見ることは稀であろう。そうでもなくともスイッチ一つで明るくなり、温度が調節できるのは当たり前である。しかし、昔は部屋を明るくするにも暖かくするにも火を燃やさなければならなかった。そんな時代の明かりと暖房の器具を紹介。

(主な展示資料)

燭台、行灯、提灯、火鉢、こたつ、湯たんぽ、電気行火



(ウ) 洗濯と裁縫

今は水道の蛇口を開けば水が出るのは当たり前であるが、水道が普及する以前の水仕事は大変であった。井戸で水を汲み、たらいで洗濯をした時代の洗濯と衣類に関する道具を紹介。

(主な展示資料)

井戸の滑車、洗濯板、電気洗濯機、炭火アイロン、足踏みミシン、仕事着、ドンザ



(エ) 田畑で働く

昭和30年代後半から農業の機械化が進められ、農機具も激変した。弥生時代に稲作道具が伝えられて以来、工夫が重ねられ、改良されてきた機械化以前の農機具を紹介。

(主な展示資料)

鍬、犁、田下駄、田植綱、雁爪、千歯抜き、足踏み脱穀機、箕、唐箕



(オ) 家庭で手当

昭和30年代ころまでは病院の数が少なく治療費も高かったので、ほとんどの病気やけがは家庭で治療していた。民間療法や配置売薬などに頼っていた当時の家庭での手当について紹介。

(主な展示資料)

薬研、乳鉢、置薬入れ、氷嚢、水枕



(特記事項) 学校団体見学 1校

見学時には展示説明のほか、体験学習として天秤棒による水運び、洗濯板による洗濯、火熨斗によるアイロンがけなどを実施。

⑤ くまもとの海岸で見られる海辺の植物

開催期間 令和4年(2022年)3月21日(月)～令和4年(2022年)5月22日(日)

後援 熊本県教育委員会、宇城市教育委員会

展示点数 標本37点

担当 田尻雅之、前田哲弥

(展示趣旨)

陸上植物にとって、海岸は生育に厳しい環境である。そのような環境に生育する海岸性の植物は、厳しい環境を生き抜くさまざまな形や機能をそなえている。これらの植物の形や機能、そして生き方を紹介することで、海岸性の植物、そして海岸という特殊な環境への興味関心を引き出し、熊本県の自然への理解と愛着を深めることを目的とする。

(展示構成と主な展示資料)

(ア) 海岸と植物について

海岸の環境としての特徴と植物の生育との関係、分布の一般的な知識を解説する。

(イ) 海岸環境と生育する植物について

海岸環境を大きく、「岩場」、「砂や小石の浜」、「塩生湿地」に分け、それぞれに生育する植物を紹介する。また、海岸に近い場所に形成される「海岸近くの森林」についても紹介する。

(主な展示資料：岩場)

ハマエノコロ、イソヤマテンツキ、ツメレンゲ、ハマナデシコ、ハマボッスなど

(主な展示資料：砂や小石の浜)

ケカモノハシ、コウボウムギ、コウボウシバ、ハマエンドウ、ハマナタマメなど

(主な展示資料：塩生湿地)

ヨシ、シオクグ、ハマナツメ、ハマボウ、ハマサジなど

(主な展示資料、海岸近くの森林)

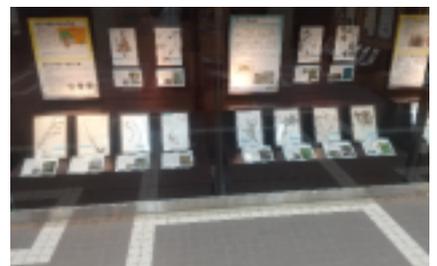
オニヤブソテツ、オオバグミ、ウバメガシ、マサキ、トベラなど

(ウ) 熊本県の海岸について

県内の海岸の特徴や状況について説明し、「レッドデータブックくまもと 2019-熊本県の絶滅のおそれのある野生動植物」のVII 群落篇で選定されている群落の一部を写真で紹介した。

(主な展示写真)

不知火町の塩生植物群落、緑川河口の水湿生植物群落、高浜白鶴浜のコウボウムギ群落、羊角湾の塩生湿地群落など



(2) 移動展示

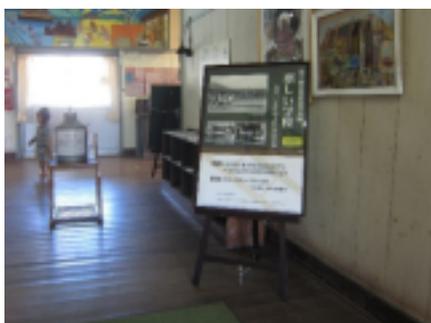
① 第3回荒牧英男写真展 楽しい学校～一九六〇年代の上色見小学校～

会場 阿蘇フォークスクール
 開催期間 令和3年(2021年)10月16日(土)
 ～令和4年(2022年)9月30日(金)
 共催 荒牧英男写真展実行委員会
 後援 高森町、高森町教育委員会
 来館者数 38人(ノートに記載のあった人数)
 令和4年(2022年)3月現在

展示点数 50点

展示概要 高森町上色見で写真を撮り続けた故荒牧英男氏の写真の中から、1960年代に撮影された学校行事の様子を撮影した写真を展示。

担当 原田信敬、國本信夫、迫田久美子



② 海辺の植物 —有明海編—

会場 長洲町 金魚の館
 開催期間 令和3年(2021年)12月20日(月)
 ～令和4年(2022年)1月31日(月)

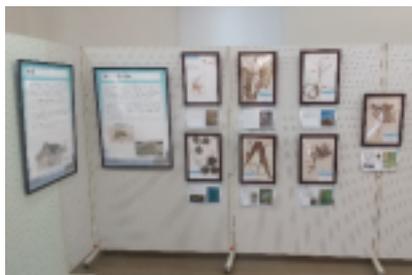
後援 長洲町

観覧者数 10,328人

展示点数 36点

展示概要 有明海沿岸における厳しい環境を生き抜く海岸性の植物の形態や機能、そして生き方を標本やパネルで展示。

担当 田尻雅之、前田哲弥



(3) 県市連携展示「熊本のいきものたち」

「熊本県博物館ネットワークセンター」67万点のコレクションの中から、生物分類ごとに選定された実物標本を展示することで、熊本の自然環境と生物の多様性、生態系の豊かさを知る展示を行い、さまざまな生物の実物標本をできるだけ多く展示することで、実物に接する大切さを伝え、標本を見て観察することから、自然科学への興味の扉を開ききっかけとする。

熊本県博物館ネットワークセンターサテライト展示室での展示をきっかけに自然探究への興味・関心を高め、フィールドへと誘うことを目指す。

① 展示場所及び面積

展示場所：熊本博物館 2F 常設展示室

展示面積：286.75 m²

② 展示資料

区 分	展示資料種数	展示資料例
動物	哺乳類	39種 カモシカ、スナメリ、ニホンモモンガ
	鳥類	57種 クロツラヘラサギ、ヤマドリ、ホオアカ
	爬虫類	16種 アカウミガメ、ニホンマムシ、ニホントカゲ
	両生類	16種 カスミサンショウウオ、トノサマガエル
	魚類	47種 アリアケギバチ、ムツゴロウ、ウツボ
	昆虫類	425種 オオルリシジミ、ダイコクコガネ、サツマゴキブリ
	貝類	246種 タイラギ、イシカワギセル、マツカサガイ
	その他	31種 ハクセンシオマネキ、クルマエビ、ヒゴキムラゲモ
植物	維管束植物	63種 スタジイ、ツクシネコノメソウ、ハナシノブ
	菌類	15種 ツエタケ、キニガイグチ、タマアセタケ
	藻類	19種 オキチモズク、クロメ、マクサ、ムカデノリ
合計	974種	

○ 哺乳類



○ 魚類



○ 昆虫類



○ 貝類



○ 維管束植物・藻類



○ 菌類



③ 県民活動紹介コーナー

県民の自然に親しむ活動を紹介するコーナーを設置。県民全体で自然や文化に親しむきっかけとなるように、県民の博物館活動の成果等を展示している。

○MPC シダを楽しもう会 令和3年9月～



○自然観察指導員熊本県連絡会 令和4年3月～



④ フィールドへの誘い

熊本県を大きな博物館（フィールドミュージアム）として、県内各地域で観察される動植物や地質について紹介し、県民の自然に対する興味関心を引き出す。

○上天草市 令和3年6月～



○宇土市 令和3年9月～



○熊本市 令和3年12月～



○宇土市 令和4年3月～



(4) 博物館ネットワークセンター阿蘇展示室

平成31年（2019年）3月17日（日）、阿蘇火山博物館2階に開設。当センター所蔵の資料を用いて、阿蘇を中心に熊本の自然や文化についての展示を行う。

① 熊本県内のいろいろな化石や岩石（常設展示）

展示点数 33点

展示概要 化石、岩石、石材の3つのコーナーに実物標本及びパネルを展示し、熊本の地質について伝える。化石コーナーでは、熊本の代表的な化石を時代ごとに展示、岩石コーナーでは、熊本の代表的な岩石を、堆積岩、火成岩、変成岩に分類して展示、石材コーナーでは、熊本の代表的な石材を展示。

担 当 高口幹世司、廣田志乃

② 阿蘇の水辺の生き物たち

開催期間 令和2年(2020年)12月16日(水)～令和3年(2021年)5月13日(木)

展示点数 99点

展示概要 阿蘇は、6本の1級河川の源と、多くの湧水地を有し、豊富な水を誇る。ここには、チクシブチサンショウウオやタガメなど、貴重な動物たちも生息している。当センターが所蔵している標本の中から阿蘇の淡水域に生息している多様な生き物たちを紹介した。

担 当 金子誉士、中菌洋行



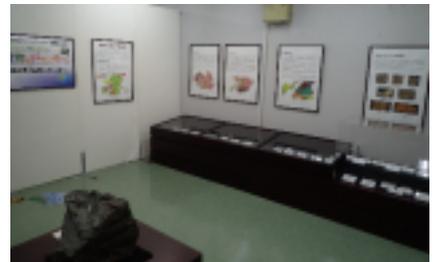
③ 知ってる!? 知らない!? 鉱物のいろいろ!! ～熊本県の鉱物いろいろ～

開催期間 令和3年(2021年)5月14日(金)～令和3年(2021年)11月14日(月)

展示点数 37点

展示概要 鉱物は、地球を構成する要素であり、宝飾品や工業製品など身近なものの原料として使われている。これらの鉱物を熊本県に関するものに絞り、できる場所やでき方、物理的な性質、基本的な事柄や特徴等について収蔵資料とともに紹介した。

担 当 高口幹世司、廣田志乃



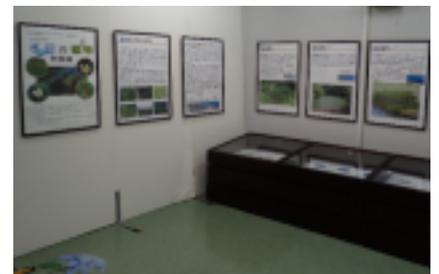
④ 水辺の植物 阿蘇編

開催期間 令和3年(2021年)11月15日(月)～令和4年(2022年)5月中旬

展示点数 19点

展示概要 阿蘇の代表的な景観である草原の内部には湿地や遊水地が点在し、阿蘇で発見されたハタベカンガレイなど、貴重な水辺の植物たちの生育地となっている。この阿蘇の水辺環境に生息している植物たちを紹介する。

担 当 田尻雅之、前田哲弥



2 情報発信活動

(1) 熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト

事業目的

インターネット上で資料データやイベント情報等を提供し、参加館等における資料管理、調査研究、情報発信、県民の博物館活動への参加等を支援する。平成27年（2015年）10月より運用開始。

参加館等

31館、8市町村（令和4年（2022年）3月31日現在）

URL

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト
<https://kumamoto-museum.net/>



(2) 熊本どこでもミュージアム

事業目的

インターネット上で熊本の自然と文化の紹介、県内博物館等施設の紹介、実験・創作・観察方法などの紹介を視聴できるサイトを「熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト」内に作成し、コロナ禍において活動が制限される状況下でも、いつでも、どこでも博物館を身近に感じることができる機会を提供する。令和3年（2021年）3月より運用開始。

事業内容

「バーチャルミュージアム」、「ミュージアムをのぞいてみよう」、「できた！みつけた！」の3つの項目で構成。それぞれに県内博物館等各館が記事を投稿することができる。

①バーチャルミュージアム

熊本県内ミュージアムが自然や文化の魅力について発信
（登録記事 51件）

②ミュージアムをのぞいてみよう

熊本県のミュージアムについて発信（登録記事 2件）

③できた！みつけた！

自宅でする実験・創作の紹介や熊本県内のおすすめフィールドについて発信（登録記事 20件）



※登録記事数は、令和4年（2022年）3月31日現在。

URL

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト内「熊本どこでもミュージアム」
<https://kumamoto-museum.net/kumadoko>

(3) 出版物

① 広報誌（熊本県博物館ネットワークセンターだより「熊本の自然と文化」） ※博物館ネットワークセンターホームページに掲載

(7) 49号

発行日 令和3年（2021年）7月21日（水）

掲載内容 [イベント情報] 企画展

フィールドミュージアムへ飛びだそう！

[資料紹介] 国立銀行紙幣旧1円券（歴史）

シノブ石（地学）

背負梯子（民俗）

ミゾゴイ *Gorsachius goesagi*（動物）

ハゼノキ *Toxicodendron succedaneum*（植物）



(イ) 50号

発行日 令和3年（2021年）11月10日（水）

掲載内容 [イベント情報] 企画展

フィールドミュージアムへ飛びだそう！

[資料紹介] ナンゴクウラシマソウ

Arisaema thunbergii subsp. *thunbergii*（植物）

担股（民俗）

三角岳（地学）

郵便切手貯金台紙（歴史）

ニホンイシガメ *Mauremys japonica*（動物）



(ウ) 51号

発行日 令和4年（2022年）3月10日（木）

掲載内容 [イベント情報] 企画展

移動体験教室・講師派遣、

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータル
サイト

[資料紹介] ナマズ *Silurus asotus*（動物）

ウマノスズクサ *Aristolochia debilis*（植物）

民部省札1朱札（歴史）

白雲母とザクロ石を含む花こう岩（地学）

洗濯板（民俗）



② 熊本県博物館情報誌「Museくまもと」

※博物館ネットワークセンターホームページに掲載

(7) Vol.5

発行日 令和3年(2021年)9月30日(木)

掲載内容 [見どころ紹介] 熊本県伝統工芸館、島田美術館、
熊本県博物館ネットワークセンター
[コレクション紹介] 松井文庫驥斎
[博物館のお仕事] くまもと文学・歴史館
[博物館紹介] 熊本国際民藝館、芦北町星野富弘美術館
[展示・イベント案内] 27館



(1) Vol.6

発行日 令和4年(2022年)3月28日(月)

掲載内容 [見どころ紹介] 坂本善三美術館、宇城市不知火美術館、
御船町恐竜博物館
[コレクション紹介] 阿蘇火山博物館
[博物館のお仕事] 熊本大学五高記念館
[博物館紹介] リデルライト両女史記念館、東海大学
松前重義記念館
[展示・イベント案内] 23館



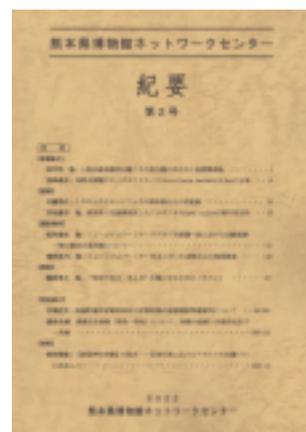
③ 熊本県博物館ネットワークセンター紀要 第2号

※博物館ネットワークセンターホームページに掲載

発行日 令和4年(2022年)3月17日(木)

掲載内容 熊本県の自然、文化に対する研究の発表

- 田中均 他：上部白亜系雁回山層とその相当層の貝化石と地質構造論
- 安田晶子：加勢川流域のセイタカナミキソウ *Scutellaria barbata* D.Don の分布
- 中藺洋行：トウキョウヒメハンミョウの熊本県からの初記録
- 安田晶子 他：熊本県で交通事故死したアカギツネ *Vulpes vulpes* の胃内容分析
- 松本達也 他：ミュージアムパートナーズクラブ貝類調べ隊における活動業績—特に陸淡水産貝類について—
- 廣田志乃 他：ミュージアムパートナー有志と行った金峰火山の地質調査
- 鶴田孝三 他：“地学の見方・考え方”を働かせるために(その1)
- 古澤廣大：高森町瀬井家資料所収の甲斐有雄の道標建設関連資料について
- 鶴本市朗：横溝正史書簡(乾信一郎宛)について、所蔵の経緯と目録作成及び一考察
- 原田信敬：『群塚神社祭歌』の紹介—伝承行為におけるテキストの位置づけに注目して—



3 研修活動

(1) 総合プロデューサー育成研修

① 目的

高い企画能力を持ち、効果的なプロモーション活動や広報活動が行える総合プロデューサー的な能力を有する学芸員等の育成。

② 研修会

○第1回 「博物館とボランティアのかかわり」

主催 熊本県博物館ネットワークセンター

期日 令和3年(2021年)6月29日(火)

オンラインで実施

参加者 26名

講師 九州国立博物館

交流課主任研究員 上野 光裕氏

内容 九州国立博物館の博物館ボランティアの活動事例をもとに、博物館とボランティアの関わり方やボランティアのあり方、ボランティアの活性化について学ぶ。

○第2回 「小規模ミュージアムネットワーク(小さいとコネット)と小規模館の取組み」

主催 熊本県博物館ネットワークセンター

期日 令和3年(2021年)12月21日(火)

場所 熊本県博物館ネットワークセンター 学習ルーム

参加者 22名

講師 高槻市立自然博物館(あくあびあ芥川)

主任学芸員 高田 みちよ氏

内容 小規模ミュージアムの知的・物的・人的資源の活用や魅力発信に関する活動について学び、県内博物館等施設が抱える課題の解決の一助とする。



(2) スキルアップ研修

① 目的

講座・実習をとおし資料保存、展示技術、展示評価等の技能向上、及び各博物館の取組の紹介や共同事業などに係る意見交換会をとおし、県内博物館の運営力向上を図る。

② 研修会

○第1回 「博物館活動における動画活用について」

主催 熊本県博物館ネットワークセンター 学習ルーム

期日 令和3年(2021年)12月21日(火)

参加者 24名

講師 独立行政法人国立科学博物館(事業推進部 広報・運営戦略課)

小川 達也 氏

内容 今回は博物館活動の動画活用について先進館である国立科学博物館から講師を招き、日本や世界の博物館での活用事例、国立科学博物館の事例などを通じて効果的な動画等を活用した情報発信について学ぶ。



○第2回 「ミュージアム I PMについて」

主催 熊本県博物館ネットワークセンター オンラインで実施

期日 令和4年(2022年)2月17日(木)

場所 熊本県博物館ネットワークセンター 学習ルーム

参加者 26名

講師 熊本市現代美術館

学芸員 富澤 治子 氏

内容 I PMを積極的に実施されている熊本市現代美術館の富澤治子氏を講師に招き、I PMの実践や博物館ボランティアと共に実施するI PMについて学ぶ。

(3) 教員のための博物館の日 in 山鹿

① 目的

博物館等と学校との連携を図る必要があることから、教職員を対象とした研修会を通して、博物館活動に興味・関心や親近感を持ち、授業で活用できる学習資源として認識してもらおう。

② 研修会

主催 熊本県博物館ネットワークセンター、熊本県立装飾古墳館
共催 国立科学博物館 (公財)日本博物館協会
(公財)阿蘇火山博物館 山鹿市教育委員会
天草市立御所浦白亜紀資料館 熊本博物館
熊本県伝統工芸館 熊本県環境センター
くまもと文学・歴史館 御船町恐竜博物館 合志市歴史資料館
後援 文部科学省、熊本県博物館連絡協議会
期日 令和3年(2021年)8月5日(木)
場所 オンラインにて実施(当初計画では、熊本県立装飾古墳館)
参加者 33名
内容 ○講演

「博物館と学校の連携による児童生徒の学習支援の方策を考える」

講師

九州産業大学地域共創学部 緒方 泉教授(九州産業大学美術館館長)

※研修会において、以下の活動は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

○展示解説

○ワークショップ



4 学習支援活動

(1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！ 県内各地で行う家族向け自然観察会

① 食虫植物を観察しよう

開催期日 令和3年(2021年)7月17日(土)

場 所 上天草市姫戸町 白嶽森林公園

参加人数 18人

概 要 白嶽森林公園を散策しながら、食虫植物を中心に、水辺の植物の観察を行った。

担 当 田尻雅之、前田哲弥



② 氷川の石ころ図鑑をつくろう

開催期日 令和3年(2021年)7月24日(土)

場 所 八代郡氷川町 立神峡

参加人数 20名

概 要 河原の石を集めて観察し、種類を調べ、自分だけの石ころ図鑑を作った。

講 師 田中均氏(元 熊本大学教授)

担 当 高口幹世司、廣田志乃



③ 月の観察と写真撮影をしよう

開催期日 令和3年(2021年)10月15日(金)

場 所 熊本市南区 熊本県民天文台

参加人数 60名

概 要 天体望遠鏡の映像をスクリーンに映し、月の観察や写真撮影を行った。

講 師 艶島敬昭氏、中島尚氏、高田祐一氏
(熊本県民天文台スタッフ)

担 当 高口幹世司、廣田志乃



④ 海辺の生き物を観察しよう

開催期日 令和3年(2021年)10月23日(土)

場 所 天草市 茂串海岸

参加人数 23人

概 要 天草市、茂串海岸にて、魚類、貝類、軟体動物など、海辺の生き物たちの観察を行った。

講 師 松本達也氏

担 当 金子誉士、中藪洋行



⑤ 植物体感ウォーク

開催期日 令和3年(2021年)10月30日(土)

場 所 宇城市豊野町

参加人数 5名

概 要 水源周辺に生育するさまざまな植物の観察を行った。

担 当 田尻雅之、前田哲弥



⑥ 水辺の生き物を観察しよう

開催期日 令和3年(2021年)11月13日(土)

場 所 菊池市七城町 鴨川河畔公園

参加人数 19人

概 要 水生昆虫や魚類など、水辺の生き物たちの観察を行った。

担 当 金子誉士、中園洋行



⑦ 夏の星空を楽しもう

開催期日 令和3年(2021年)11月5日(金)

場 所 熊本市南区 熊本県民天文台

参加人数 38名

概 要 夏の大三角や天の川など、夏の星空の観察を行った。

講 師 艶島敬昭氏、中島尚氏、高田祐一氏
(熊本県民天文台スタッフ)

担 当 高口幹世司、廣田志乃



⑧ 落ち葉図鑑を作ろう

開催期日 令和3年(2021年)11月20日(土)

場 所 和水町 肥後民家村

参加人数 21人

概 要 和水町肥後民家村内を散策しながら樹木等を観察し、落ち葉を集めた。観察終了後、園内で、集めた落ち葉を使って図鑑作りを行った。

担 当 田尻雅之、前田哲弥



⑨ 白亜紀の化石を探そう

開催期日 令和3年(2021年)11月20日(土)

場 所 上天草市龍ヶ岳町 櫛島

参加人数 29名

概 要 地層や化石について専門家の解説を聞きながら、化石を探した。

講 師 田中均氏(元 熊本大学教授)

担 当 高口幹世司、廣田志乃



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した活動

水辺の冬鳥を観察しよう

(2) 熊本を知る講座 熊本の自然や文化について学ぶ一般向けの講座

① 貝類学講座

- 開催期日 令和3年(2021年)7月～令和4年(2022年)3月
会場 熊本県博物館ネットワークセンター(第1、2、5回)
住吉海岸公園(第3回)
龍峯山自然公園(第4回)
受講人数 19人(計4回)
趣 旨 熊本県内に生息する貝類について、見分け方や生息環境などを学び、貝について興味・関心を持つきっかけを提供する。
内 容 第1回 7月17日 「総論 貝類ってどんな生き物」
第2回 10月16日 「貝類の分類」
第3回 11月20日 【野外観察】「海に住む貝」
第4回 12月18日 【野外観察】「陸に住む貝」
第5回 3月19日 「貝類学応用編・貝類の標本の作り方」
講 師 松本達也氏
担 当 金子誉士、中藪洋行



② 植物観察講座

- 開催期日 令和3年(2021年)7月～令和4年(2022年)3月 毎月第4土曜日
会場 熊本県博物館ネットワークセンター、ほか県内各地
受講人数 27人(計5回)
趣 旨 植物についての基本的な観察や記録の方法の講義や実習をとおして、調査に必要な基礎的な知識や技術を習得し、身近な自然に興味や親しみをもつきっかけを提供する。
内 容 「植物の分類」、「写真撮影法」、「生物スケッチ」、「雁回山の植物」、「種子の観察」ほか
担 当 田尻雅之、前田哲弥



③ 地質学講座

- 開催期日 令和3年(2021年)7月～令和4年(2022年)1月 奇数月第2日曜日
※9月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10月に延期
会場 熊本県博物館ネットワークセンター、野外
受講人数 16人(計4回)
趣 旨 主に球磨川流域の地層や地形を観察しながら、環境による堆積構造の違いや褶曲・断層などについて学ぶ。
講 師 田中均氏(元熊本大学教授)
担 当 高口幹世司、廣田志乃



④ 熊本の祭りと行事

開催期日 令和3年(2021年)7月~令和4年(2022年)3月 毎月第2水曜日
会場 熊本県環境センター・水俣環境アカデミア
主催 水俣市教育委員会、熊本県環境センター、熊本県博物館ネットワークセンター
受講人数 40人(計6回)
趣旨 熊本県内で行われてきた季節ごとの祭りや行事を紹介しながら、その意味や内容、熊本の暮らしや伝承文化について学ぶ。
内容 第1回 7月14日 暦と祭り行事
第2回 10月13日 秋の祭りと行事1
第3回 11月10日 秋の祭りと行事2
第4回 12月8日 熊本のお正月
第5回 1月12日 春の祭りと行事
第6回 3月23日 熊本の民俗芸能
担当 原田信敬、國本信夫、迫田久美子



⑤ 古文書読み解き講座

開催期日 令和3年(2021年)7月、10~12月、令和4年(2022年)1月、3月
毎月第1土曜日(1月は第2土曜日、3月は第4土曜日)
会場 熊本県博物館ネットワークセンター
受講人数 46人(計6回)
趣旨 当センターが所蔵する歴史資料(古文書)を教材として活用し、受講者が古文書に親しみながら基礎知識や基本的な読解力を身に付けることを目指す。
使用資料 「銀臺遺事」
担当 中村圭子、古澤広大



(3) くまもとキッズミュージアム in 人吉

※大雨により2日間とも中止(会場のある人吉市に大雨特別警報が発令)

《実施計画》

概要 楽しく遊びながら自然や伝統文化を体験する子ども向けプログラム
主催 熊本県博物館ネットワークセンター、ミュージアムパートナーズクラブ
会場 人吉市東西コミュニティーセンター
開催期日 令和3年(2021年)7月10日(土)、11日(日)

(4) 移動体験教室・講師派遣

① 移動体験教室

12月27日 Switch 宇土（葉脈標本でしおりをつくろう 5人）

1月6日 Switch 宇土（化石のレプリカをつくろう 6人）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていたものの実施されなかったものがあります。

② 講師派遣

7月16日 宇城市立豊野小学校（地層観察授業 35人）

2月21、22日 益城町立広安小学校（昔の道具とくらしについて 121人）

3月3日 宇城市立海東小学校（昔の道具とくらしについて 18人）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていたものの実施されなかったものがあります。

(5) 団体利用

11月27日 宇城市立豊福小学校2年生（インタビュー 17名）

12月2日 県立教育センター（バックヤードツアー撮影 2人）

3月10日 宇城市立豊野小学校3年生（体験学習 20人）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていたものの実施されなかったものがあります。

(6) 博物館実習・職場体験

① 博物館実習

期 間 令和3年（2021年）11月1日（月）～11日（木） ※土日祝日を除く

実習生 熊本大学 1人

実習内容 資料整理および登録業務、解説シートの作成

11月1日 オリエンテーション、バックヤード見学

11月2日 資料整理・登録業務

11月4日 資料整理・登録業務

11月5日 ミニ展示企画書作成

11月8日 ミニ展示リスト・図面作成

11月9日 ミニ展示キャプション・パネル作成

11月11日 ミニ展示設営、展示解説

② 職場体験

受け入れなし

(7) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズ制度

概 要 熊本県内の自然や文化に興味・関心を持ち、当センターと協働した「県民参加型の博物館活動」に主体的に携わる意志がある方を対象とした登録制度。

登録説明会 令和3年度（2021年度）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

登録者数 78人

(8) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ

活動概要

熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーにより組織された活動団体として、各活動クラブに分かれて活動している。博物館ネットワークセンターとの協働により熊本県内の自然や文化の調査研究及び学習支援、情報発信等の活動を行っている。

活動クラブ

① 草木染めの会

活動人数 8人

活動日 毎月第2土曜日

活動内容 熊本の植物を使つての草木染め実践



草木染めの会

② 雁回山の植物を観る会

活動人数 21人

活動日 毎月第2木曜日

活動内容 雁回山の植物相調査



雁回山の植物を観る会

③ くまもとの大地の成り立ち

活動人数 40人

活動日 偶数月第1日曜日

※4月、6月、8月、2月は新型コロナウイルス感染症予防のため休止

活動内容 地層や岩石の現地見学会の実施



くまもとの大地の成り立ち

④ 地学研究会

活動人数 6人

活動日 毎週金曜日

※新型コロナウイルス感染拡大によるまん延防止等重点措置期間は活動休止

活動内容 寄贈された標本やそれに関連する地学資料の整理

⑤ 貝類調べ隊

活動人数 14人

活動日 令和3年(2021年)4月17日(土)

令和3年(2021年)11月20日(土)

令和3年(2021年)12月18日(土)

活動内容 県内各地の陸・海・淡水の貝類を調査、観察を行う。
必要に応じて採集し、名前を同定し、博物館ネットワークセンターへ情報提供を行う。



貝類調べ隊

⑥ 松橋地域史調査クラブ

活動人数 7人
 活動日 毎月第1土曜日
 活動内容 宇城市が所蔵している秋岡家文書(秋岡吉左衛門覚書 其ノ二)の調査(読解)



松橋地域史調査クラブ

⑦ シダを楽しもう会

活動人数 11人
 活動日 毎月第3火曜日
 活動内容 熊本県内のシダ植物の分布状況調査



シダを楽しもう会

⑧ 甲佐民具を学ぶ会

活動人数 5人
 活動日 毎月第1月曜日
 活動内容 甲佐町民俗資料館の民具資料のクリーニング及びメンテナンス
 甲佐町民俗資料館の民具資料の台帳作成
 甲佐町民俗資料館の展示の充実



甲佐民具を学ぶ会

※活動日については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動内容に応じて各クラブにおいて実施の有無を判断されました。

(9) 学校移動展示用パッケージ

事業目的

博物館ネットワークセンターにある実物資料を活用し、学校の教育課程と重ね合わせて作成した移動展示用パッケージを、各教育事務所や学校に配置し、授業やイベント等の展示に活用する。

小中学校

熊本市以外の各教育事務所及び山鹿市教育委員会に配置し、各学校への運用を依頼。

小学校は2種類、中学校は4種類、計6種類作成。

高等学校

生物分野を9校、地学分野を2校に配置し、運用を依頼。
 生物分野は、日本のバイオームを5校に、外来生物を4校に配置。
 地学分野は、3種類を1セットとして配置。

学校移動展示用パッケージ (小・中学校用)

熊本県では、県内どこに居ても博物館活動に参加できる「熊本市博物館ネットワークセンター」の構築を目標とし、熊本県博物館ネットワークセンターを拠点として、広域県内中継館等さまざまな施設を連携しています。

その一環として、熊本県博物館ネットワークセンターでは、各校移動展示用パッケージを開発しています。これは、

当センターが所蔵する、植物標本、植物標本は、化石・標本などの標本も活用し、これらと熊本に馴染み、興味を持ってもらうことで、授業・学習に活用できるパッケージとすることを目標としています。

各学校での展示は、理科の授業等での積極的な活用を期待しています。

お問い合わせ先

● 学校移動展示用パッケージに関するお問い合わせ先
 熊本県博物館ネットワークセンター
 住所：〒960-0001 熊本市東区 1-1-1
 電話：096-341-1301
 Eメール：kumamoto@kumamoto-museum.jp

● 博物館に関するお問い合わせ先
 熊本県博物館
 住所：〒960-0001 熊本市東区 1-1-1
 電話：096-341-1301
 Eメール：kumamoto@kumamoto-museum.jp

主に小学校向け

1. 身近な生きもの
 身近に生きている生きものを通して、自然、生命、環境について学びます。

● 動物園 (12校) ● 植物園 (12校)
 動物園 (12校) 1校 1校 1校 1校 1校 1校
 植物園 (12校) 1校 1校 1校 1校 1校 1校

2. 熊本のおもてなし
 熊本の魅力や歴史を学ぶための教材として活用されています。

● 熊本県立博物館 (12校)
 熊本県立博物館 (12校) 1校 1校 1校 1校 1校 1校
 ● 熊本県立歴史博物館 (12校)
 熊本県立歴史博物館 (12校) 1校 1校 1校 1校 1校 1校

(10) 図書館・公民館移動展示用パッケージ

事業目的

図書館や公民館などの展示スペースが限られた施設においても小型の移動パッケージを活用し展示することで、博物館活動に対しての県民の興味・関心を高める。

パッケージ内容

- 郷土玩具（民俗）
- 水辺の昆虫たち（動物）
- 甲斐有雄と石道標（歴史）



5 資料収集整理活動

(1) 熊本県博物館資料データベース事業

事業目的

熊本県内の博物館等が所蔵する博物館資料に係るデータ管理を効率化するとともに、資料データを共有し、展示や調査研究のための利活用の促進を図る。

事業内容

収蔵資料管理システム、資料情報公開システム及びポータルサイトの運用

参加館等

21館、4市町村、資料登録件数は470,097件
(令和4年(2022年)3月22日現在)

URL

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイトからアクセス

<https://kumamoto-museum.net/> (http://jmapps.ne.jp/kumamoto_museum/)



(2) 熊本県学芸員等人材データベース事業

事業目的

熊本県内の博物館・資料館等に所属する学芸員、県・市町村教育委員会の文化行政担当者や学校教職員等が有する専門的な知識や技術の調査を行い、その情報をもとにデータベースを作成し、博物館等における調査研究、展示及び講演会等の博物館活動の充実を図る。

事業内容

熊本県学芸員等人材データベースの作成及び関係機関への配付

熊本県学芸員等人材データベース（web版）の作成及び公開（平成27年（2015年）10月）

登録者数

124人（令和4年（2022年）3月31日現在）

URL

熊本県学芸員等人材データベース（web版）公開ページ

<https://kumamoto-museum.net/human>



(3) 資料収集・整理状況 (令和3年度 (2021年度))

①動物分野

収蔵資料点数及び登録点数

分類群	資料点数 (概数)	登録点数		計
		乾燥 (剥製等)	液浸	
NB11 (哺乳類)		249	126	375
NB12 (鳥類)		1,014	1	1,015
NB13 (両生・爬虫類)		76	328	404
NB14 (魚類)		80	2,111	2,191
NB15 (昆虫類)		11,801	415	12,216
NB16 (多足類)		21	882	903
NB17 (甲殻類)		40	945	985
NB18 (軟体動物)		6,225	248	6,473
NB19 (その他分類群)		19	35	54
合計		87,200	19,525	5,091

令和3年度 (2021年度) の受入資料

諫早湾の貝の標本	約1,300点
ウグイス(沖縄島産)	2点
ノレンコウモリ	2点
クロホオヒゲコウモリ	1点
アカエリヒレアシシギ	1点
メボソムシクイ類	1点
ヘラサギ	1点
冷凍鳥獣	15点

令和3年度 (2021年度) の主な整理登録作業

乾燥昆虫標本作成及び登録
倉永善太郎昆虫標本整理及び登録
武藤桂子貝類標本整理及び登録

②植物分野

収蔵資料点数及び登録点数

分類群	資料点数 (概数)	登録点数
NB2 (植物)		223,242
NB3 (菌類)		2,412
NB4 (藻類)		1,383
合計	280,000	227,073

令和3年度(2021年度)受入資料

小林嘉光氏収集標本、森林総研九州支所菌類標本

令和3年度(2021年度)の主な整理登録作業

職員採集標本の作成、熊本大学標本、熊本農業高校標本、フェイス女学院標本、河浦高校標本、第二高校標本、旧制鎮西中学標本、職員採集標本の登録・配架作業

③地質分野

収蔵資料点数及び登録点数

コレクション名	資料点数(概数)	登録点数
今西茂標本	2,500	2,287
長谷義隆標本	10,000	568
アトラス熊本標本	174	174
荒尾宏岩石標本	103	103
熊本大学理学部地学科進級論文標本	4,833	4,833
河野通幸化石標本	217	217
岩崎泰穎標本	6,500	2,262
津末昭生標本	4,300	0
熊本大学工学部標本	7,026	7,026
熊本大学理学部地学科卒業・修士論文標本	5,040	5,040
熊本大学理学部地学科標本	105	105
村田正文標本	1,100	6
遠藤誠道植物化石標本	600	2
斉藤林次標本	213	213
早田幸作標本	200	13
千藤忠昌標本	1,846	1,846
植田和男標本	100	96
フェイス女学院 松本唯一標本	234	234
桂輝雄標本	216	216
田中均標本	8,000	4
多良木高校標本	370	370
永松允積火山灰標本	90	0
村上能治標本	200	0
田中基義標本	800	99
ミュージアムパートナーズクラブ採取標本	320	253
その他(少数寄贈、職員製作など)	1,350	1,117
合計	56,437	27,084

令和3年度(2021年度)受入資料

個人寄贈・職員採取標本 50点

令和3年度（2021年度）の主な整理登録作業

田中均標本の整理

今西茂標本の整理・登録

田中基義標本の整理

ミュージアムパートナーズクラブ・個人寄贈・職員採取標本の整理・登録

展示など使用標本の登録

④歴史分野

収蔵資料点数及び登録点数

コレクション名	資料点数	登録点数
熊本市辛島家資料	23,393	2,257
鏡町下山家資料	2,977	0
渡邊祥隆寄贈資料	1	1
不知火町直江家資料	43	43
嘉島町安藤家資料	769	769
牛深市浜田家資料	520	520
齊藤俊三収集資料	1,071	0
高森町久々宮家資料	34	34
高森町瀬井家資料	541	541
西崎俊秋寄贈資料	204	0
熊本市猿渡家資料	1,021	1,021
三角千代子寄贈資料	6	0
高村勇三収集資料	1,480	0
坂口雅流収集資料	1,656	0
吉倉眞収集資料	17	17
高森町安藤家資料	622	622
森下功旧蔵資料	1,142	1,142
福田巧旧蔵資料	18	18
甲斐英子寄贈資料	18	18
田口幸宗寄贈資料	150	0
岩永武男寄贈資料	511	511
松本達也寄贈資料	64	64
西山佳代寄贈資料	6	6
東アサオ旧蔵資料	8	8
手島清士寄贈資料	1	1
八代市竹田家資料	2,674	2,674
池部美恵子寄贈資料	5	5
森内千佐寄贈資料	1	1
高須恒男寄贈資料	6	6

熊本市米村家資料	400	16
村井眞輝寄贈資料	1	1
大野恵子寄贈資料	2	2
緒方満寄贈資料	39	39
太田喜一郎寄贈資料	2	2
廣吉秀澄寄贈資料	6	6
質地証書類	300	0
宇城市坂口家資料	6	6
熊本市本田家資料	36	36
岡本敬喜寄贈資料	2	2
岩成邦忠寄贈資料	1	1
美當一調関連資料	191	191
熊本県文化課収集生産具	5	5
松原ルミ子寄贈資料	3	3
米村靖雄関係資料	31	31
井手和洋寄贈資料	2	2
熊本私立測量学校関係資料	133	133
熊本市小夏家資料	494	0
東矢力也寄贈資料	73	73
熊本市河原家資料	3	3
宇城市岡村家資料	1	1
辻あきこ寄贈資料	62	62
宇城市小田家資料	1,300	725
江藤政光所蔵資料	16	16
本田力寄贈資料	1	1
上塚穰二寄贈資料	7	7
宇城市森田家資料	47	47
市丸かな子寄贈資料	17	0
宇城市小崎家資料	441	0
熊本市木下家資料	71	0
土原忠信寄贈資料	3	3
村上孝男寄贈資料	1	1
下川寿幸寄贈資料	7	0
その他（購入等）	21	21
合計	42,684	11,715

令和3年度（2021年度）の主な整理登録作業

八代市竹田家資料、熊本市米村家資料、宇城市小田家資料、土原忠信寄贈資料、村上孝男寄贈資料の整理・登録

⑤民俗分野

収蔵資料点数及び登録点数

大分類	小分類	資料点数(概数)	登録点数
衣食住	衣	1,000	291
	食	1,000	670
	住	410	260
生産生業	自然物採集	23	17
	農業	690	681
	山樵	132	130
	採鉱 冶金	11	10
	漁撈 製塩	160	146
	狩猟	10	10
	養蚕 畜産	200	194
	繊維	100	86
	諸職 手工芸	420	390
交通交易	交通	230	154
	交易	150	76
社会	社会	50	28
信仰	神社	30	10
	寺院	50	42
	民間信仰	30	26
民俗知識	教育	230	96
	医療	70	19
	暦	15	6
	卜占	0	0
芸能娯楽	民俗芸能	0	0
	競技	10	0
	娯楽	400	101
儀礼	年中行事	57	54
	人生儀礼	100	40
小計		5,578	3,537
写真資料		154,400	78,877
合計		159,978	82,414

令和3年度(2021年度)受入資料

個人寄贈生活用品等約110点

令和3年度(2021年度)の主な整理登録作業

草野春美所蔵資料、大洞一成所蔵資料、白石巖写真資料

6 資料

(1) 令和3年度(2021年度)職員一覧

所長	金丸 政治	
参事	國本 信夫	(民俗)
参事	田尻 雅之	(植物)
参事	中村 圭子	(歴史)
参事	高口幹世司	(地質)
参事	金子 誉士	(動物)
主事	原田 信敬	(民俗)
博物館活動囑託	迫田久美子	(民俗)
博物館活動囑託	前田 哲弥	(植物)
博物館活動囑託	廣田 志乃	(地質)
博物館活動囑託	中藪 洋行	(動物)
博物館活動囑託	古澤 広大	(歴史)
資料整理囑託	安田 晶子	(植物)
資料整理囑託	堤 将太	(歴史)

(2) 熊本県博物館ネットワークセンター条例

○熊本県博物館ネットワークセンター条例

(平成 27 年 3 月 20 日条例第 10 号)

熊本県博物館ネットワークセンター条例をここに公布する。

熊本県博物館ネットワークセンター条例

(設置)

第 1 条 県内の他の博物館等（博物館及び学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する機関又は団体をいう。以下同じ。）との連携の下、本県の自然、歴史等に関する情報の収集等を行い、これによって得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること等により、県民の生涯学習の機会を増大させ、もって県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、熊本県博物館ネットワークセンター（以下「ネットワークセンター」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 ネットワークセンターは、宇城市に置く。

(業務)

第 3 条 ネットワークセンターは、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 県内の他の博物館等との連携体制の構築に関すること。
- (2) 自然、歴史等に関する資料の収集を行うこと。
- (3) 前号に掲げる業務により収集した資料の整理保管及び調査研究を行うこと。
- (4) 前 2 号に掲げる業務により得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること。
- (5) 多目的広場及び多目的広場管理棟会議室（以下「多目的広場等」という。）を提供すること。
- (6) 県内の他の博物館等の活動の支援に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、第 1 条に規定する目的を達成するために必要な業務

(職員)

第 4 条 ネットワークセンターに、所長及び必要な職員を置く。

(休館日)

第 5 条 ネットワークセンターの休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）第 3 条の規定により休日とされる日（以下この号において「休日」という。）に当たるときは、その日以後の休日以外の最初の日）
 - (2) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで（前号に該当する日を除く。）
- 2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の休館日を変更し、又は別に休館日を定めることができる。

(開館時間)

第 6 条 ネットワークセンターの開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の開館時間を変更することができる。

(使用の許可)

第 7 条 多目的広場等を独占して使用しようとする者は、知事の許可を受けなければならない。

2 知事は、前項の許可をする場合において、管理上必要な条件を付することができる。

(使用の許可の基準)

第 8 条 知事は、前条第 1 項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、同項の許可をしないことができる。

- (1) ネットワークセンターにおける公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) ネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) その使用が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団を利するおそれがあると認められるとき。

(4) その他使用させることがネットワークセンターの管理上支障があると認められるとき。

（許可の取消し等）

第9条 知事は、第7条第1項の許可を受けた者（次条第1項において「使用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するとき、又は管理上支障があると認めるときは、第7条第1項の許可を取り消し、若しくは変更し、又は多目的広場等の使用を停止させることができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 第7条第2項の規定により付された許可の条件に違反したとき。

(3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(4) 前条第3号に該当することとなったとき。

（使用料）

第10条 使用者は、別表に定める額を使用料として納めなければならない。

2 前項の使用料（以下「使用料」という。）は、前納とする。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。

3 既納の使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（使用料の減免）

第11条 知事は、特別の事情があると認めるときは、使用料の全部又は一部を免除することができる。（指定管理者による管理）

第12条 ネットワークセンター（多目的広場等に限る。以下この条から第15条までにおいて同じ。）の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により法人その他の団体であつて知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

2 前項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合は、第5条及び第6条の規定にかかわらず、当該指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、ネットワークセンターの休館日を変更し、若しくは別に定め、又は開館時間を変更することができる。

3 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合における第7条から9条までの規定の適用については、これらの規定中「知事」とあるのは、「指定管理者」とする。

4 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前にされた第7条第1項（前項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の許可の申請は、当該指定管理者にされた許可の申請とみなす。

5 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前に第7条第1項（第3項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の許可を受けている者は、当該指定管理者の許可を受けた者とみなす。

第13条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

(1) 第3条第5号に掲げる業務

(2) 第7条第1項の許可に関する業務

(3) ネットワークセンターの維持管理及び修繕に関する業務

(4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者がネットワークセンターの管理上必要と認める業務

（利用料金）

第14条 第10条第1項の規定にかかわらず、第12条第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合には、前条各号に掲げる業務のほか、当該指定管理者にネットワークセンターの利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を収受させることができる。

- 2 利用料金の額は、別表に定める額に 1.3 を乗じて得た額を上限として、指定管理者が知事の承認を得て定める額とする。
- 3 指定管理者は、あらかじめ知事の承認を得て定めた基準により、利用料金の減免又は還付をすることができる。

(原状回復義務)

第 15 条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は地方自治法第 244 条の 2 第 11 項の規定によりその指定を取り消され、若しくは期間を定めてネットワークセンターの管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなったネットワークセンターの施設及び設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を得たときは、この限りでない。

(損害賠償)

第 16 条 故意又は過失によりネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、損害賠償義務の全部又は一部を免除することができる。

(雑則)

第 17 条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(罰則)

第 18 条 詐欺その他不正の行為により使用料の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の 5 倍に相当する金額（当該 5 倍に相当する金額が 5 万円を超えないときは、5 万円とする。）以下の過料に処する。

附 則

この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 条第 5 号、第 7 条から第 15 条まで、第 18 条及び別表の規定は、平成 27 年 10 月 1 日から施行する。

別表(第 10 条、第 14 条関係)

区分	単位	金額
多目的広場	東面	1 時間につき 700 円
	西面	1 時間につき 800 円
多目的広場管理棟会議室	1 時間につき	100 円

備考 使用する時間に 1 時間未満の端数があるときは、その端数を 1 時間とみなす。

(3) 施設平面図

敷地概要 所在 宇城市松橋町豊福 1695
 面積 61,917.40 m²
 建物概要 本館 構造 RC造2階建
 建築面積 1643.30 m²
 延床面積 2889.27 m²
 収蔵棟 構造 RC造平屋建
 建築面積 493.63 m²
 延床面積 480.26 m²



本館1階



本館2階



(4) 熊本県博物館ネットワークセンターへのアクセス



開館時間 午前9時～午後5時

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

交通案内 九州産交バス「希望の里入口」下車 徒歩3分

JR松橋駅より約3km

URL <https://kumamoto-museum.net/kmnc/>

E-mail hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp

令和3年度（2021年度）熊本県博物館ネットワークセンター活動報告書

編集・発行 熊本県博物館ネットワークセンター

〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福 1695

電話 0964-34-3301

発行日 令和4年（2022年）5月6日

発 行 者 熊 本 県

所 属 熊 本 県 博 物 館 ネットワークセンター

発行年度 令和4年度（2022年度）